



# 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月7日

上場会社名 テイカ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4027 URL <https://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 出井 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 中務 康介

TEL 06-6943-6401

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	41,238	1.9	2,903	89.2	3,347	83.1	2,113	83.0
2024年3月期第3四半期	40,479	4.3	1,534	56.3	1,827	53.4	1,154	55.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,081百万円 (45.0%) 2024年3月期第3四半期 3,781百万円 (36.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	91.88	
2024年3月期第3四半期	49.83	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	86,068	58,808	67.7	2,542.55
2024年3月期	82,709	57,764	69.3	2,489.06

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 58,259百万円 2024年3月期 57,286百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		18.00		20.00	38.00
2025年3月期		18.00			
2025年3月期(予想)				20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	8.5	3,200	37.6	3,500	24.9	2,300	23.2	99.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
  - 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	23,914,414 株	2024年3月期	25,414,414 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,000,680 株	2024年3月期	2,399,053 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	23,000,232 株	2024年3月期3Q	23,177,160 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得環境が改善するとともに、インバウンド需要によって企業収益が堅調に推移し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な国際情勢を起因とする原燃料価格の高止まり、継続する中国経済の低迷等、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「MOVING-10 STAGE 2」のもと、成長事業である化粧品原料及び電子材料分野の更なる拡大と新規事業創出に取り組むとともに、汎用製品分野では市場環境の変化に応じて事業構造の改革を行うことで、より一層の企業価値向上を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、化粧品向け微粒子酸化チタン等の販売が好調であったとともに、車載用コンデンサ向けを中心に導電性高分子薬剤の販売も好調に推移したこと等により、売上高は412億3千8百万円（前年同期比1.9%増）となりました。営業利益は29億3百万円（前年同期比89.2%増）、経常利益は33億4千7百万円（前年同期比83.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億1千3百万円（前年同期比83.0%増）となりました。

セグメント別の業績につきましては、機能性材料事業の売上高は217億8千8百万円（前年同期比2.6%増）、電子材料・化成品事業の売上高は186億7百万円（前年同期比1.6%増）、その他の売上高は8億4千1百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産総額は、860億6千8百万円（前連結会計年度末比33億5千9百万円増加）となりました。これは主に、現金及び預金が5億4千4百万円、受取手形及び売掛金が8億6千4百万円、固定資産のその他（純額）に含まれる建設仮勘定が23億9千9百万円それぞれ増加し、投資有価証券が7億8千6百万円減少したことによります。

負債合計は、272億6千万円（前連結会計年度末比23億1千6百万円増加）となりました。これは主に、短期借入金が1億2千万円、長期借入金が18億8千9百万円それぞれ増加したことによります。

純資産合計は、588億円8百万円（前連結会計年度末比10億4千3百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が12億3千8百万円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。今後の状況を注視し、見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,308	14,852
受取手形及び売掛金	15,731	16,595
電子記録債権	536	622
商品及び製品	9,625	9,842
仕掛品	2,401	2,412
原材料及び貯蔵品	6,193	5,906
その他	298	757
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	49,089	50,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,755	6,984
機械装置及び運搬具（純額）	6,323	6,260
その他（純額）	4,315	6,729
有形固定資産合計	17,395	19,974
無形固定資産		
のれん	1,203	984
その他	206	150
無形固定資産合計	1,410	1,135
投資その他の資産		
投資有価証券	13,365	12,578
その他	1,468	1,413
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	14,814	13,972
固定資産合計	33,619	35,081
資産合計	82,709	86,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,118	6,103
短期借入金	3,820	3,941
未払法人税等	407	482
賞与引当金	379	145
その他	3,384	4,379
流動負債合計	14,110	15,053
固定負債		
長期借入金	5,710	7,600
退職給付に係る負債	2,928	2,454
その他	2,194	2,152
固定負債合計	10,834	12,207
負債合計	24,944	27,260
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,477	4,962
利益剰余金	34,746	35,985
自己株式	△2,416	△1,064
株主資本合計	48,663	49,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,389	6,839
為替換算調整勘定	1,056	1,244
退職給付に係る調整累計額	176	436
その他の包括利益累計額合計	8,622	8,519
非支配株主持分	478	549
純資産合計	57,764	58,808
負債純資産合計	82,709	86,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	40,479	41,238
売上原価	34,117	33,449
売上総利益	6,362	7,789
販売費及び一般管理費	4,827	4,885
営業利益	1,534	2,903
営業外収益		
受取利息	16	25
受取配当金	260	320
為替差益	77	160
その他	53	68
営業外収益合計	408	574
営業外費用		
支払利息	62	87
その他	52	43
営業外費用合計	115	131
経常利益	1,827	3,347
特別損失		
固定資産除却損	115	227
特別損失合計	115	227
税金等調整前四半期純利益	1,712	3,119
法人税、住民税及び事業税	361	870
法人税等調整額	164	94
法人税等合計	526	964
四半期純利益	1,186	2,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,154	2,113

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,186	2,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,053	△550
繰延ヘッジ損益	△20	—
為替換算調整勘定	550	217
退職給付に係る調整額	11	259
その他の包括利益合計	2,595	△73
四半期包括利益	3,781	2,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,722	2,010
非支配株主に係る四半期包括利益	59	71



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年11月7日開催の取締役会において、当社普通株式200,000株、取得価額の総額400百万円を上限とした自己株式の取得を決議し、当第3四半期連結会計期間において、自己株式を104,800株購入しました。

(自己株式の消却)

当社は、2024年3月29日開催の取締役会において、会社法第178条に基づく自己株式の消却をすることを決議し、2024年4月10日付で自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。

また、2024年11月7日開催の取締役会において、会社法第178条に基づく自己株式の消却をすることを決議し、2024年11月19日付で自己株式500,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が1,516百万円、自己株式が1,516百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,136百万円	2,023百万円
のれんの償却額	237 "	227 "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	21,233	18,320	39,554	925	—	40,479
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	1,110	(1,110)	—
計	21,233	18,320	39,554	2,035	(1,110)	40,479
セグメント利益	108	1,204	1,312	225	(3)	1,534

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	21,788	18,607	40,396	841	—	41,238
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	1,031	(1,031)	—
計	21,788	18,607	40,396	1,873	(1,031)	41,238
セグメント利益	1,291	1,434	2,726	179	(2)	2,903

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。